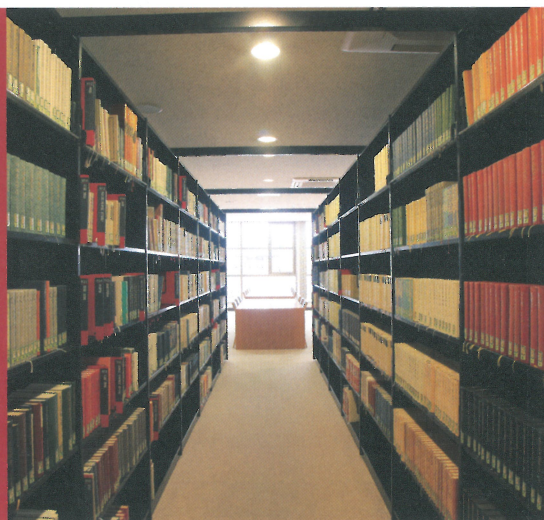


## 「ウィリアム・モリスが 手がけた本の紹介」

### — ケルムスコット・プレス —

図書館情報センター 足立 祐輔



イギリスの工芸家ウィリアム・モリス(William Morris 1834-1896)は、中世の手工業を理想とし、近世の私家版製本の歴史に重要な足跡を残した人物です。

モリスは、最初牧師になるためにオックスフォード大学神学部に入學、その後建築学を学ぶも、デザインに興味を持つとともに、1856年頃から彩色活字本の制作を手がけはじめました。

自らも詩や随筆などの作品を発表し、芸術による社会革命を訴え、1891年、ついにロンドンの西郊ハマスミスにケルムスコット・プレスを創設しました。ケルムスコット・プレスの工房にて、仲間と共に7年間の間に53種66巻(刊行部数、平均限定300部)の美しい本をこの世に送り出したのです。

15世紀のグーテンベルク(1445年頃、西洋活版印刷術を創始したドイツの印刷家)時代の活字文化の再生(ルネサンス)をめざし、それを実行した印刷史上の重要な人物であります。

モリスは、詩人、デザイナー、事業家、出版人として活躍し、その業績は「民衆の芸術」として、現在でも大きな影響を与えています。

このウィリアム・モリスが手がけた53種の本を、愛知学院大学図書館情報センターは、本学関係教員の協力も得て、13年の歳月をかけ、揃えることができましたことをお知らせ致します。今後、機会あるごとに公開し、西洋の美しい本を本学の学生、教職員、一般市民の皆さんに鑑賞していただきたいと思います。